

産廃埋め立て が過去最少に

08年度の最終処分量

環境省は18日、2008年度の産業廃棄物の総排出量は前年度比1577万トンの減の4億366万トで、このうち1670万ト（4・1％）が最終処分場に埋め立てられたと発表した。最終処分量は記録を取り始めた1990年度以降で最少。

このほか資源として再生利用されたのは2億1651万ト（53・6％）、焼却や脱水などで減量した分は1億7045万ト（42・2％）だった。環境省は「排出量を抑えつつ、できるだけリサイクルに回すことで最終処分量を減らす取り組みが産業界で浸透しつつある」と話している。

業種別の排出量は、電気・ガス・熱供給・上下水道

業が全体の23・9％で最も多く、農業・林業が21・8％、建設業が18・9％で続いた。

廃棄物の種類別では、建設工事などで発生する汚泥43・6％、動物のふん尿21・7％、がれき類15・2％などが上位に並んだ。汚泥の大部分は脱水処理により減量。ふん尿は堆肥、がれき類は路面の補強材などに再生利用されている。